

「太平山麓九条の会」だより

事務局：須黒法律会計事務所
〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757
電話連絡先 0282-22-7079(増田) Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp



QRコード



212号
2025年2月28発行

反対の声をあげよう！

日本=戦争準備が進んでいる

「戦争法廃止と立憲主義の回復を求める県民ネット」の総会

記念講演「日本を死の商人国家にしてはならない！」

講師：武器取引反対ネットワーク (NAJAT) 代表、杉原浩司さん

2月22日(土)、栃木県弁護士会館で、「戦争法廃止と立憲主義の回復を求める県民ネット」の総会と講演会が開催されました。参加者は約80名。総会の後、武器取引反対ネットワーク(NAJAT)代表、杉原浩司さんの講演がありました。議題は、「日本を死の商人国家にしてはならない！」です。

講演の初めに武器見本市のスライドが紹介されました。そこには多くの国から武器が展示され、武器の売買契約などがなされているということです。この見本市には、限られた人以外は参加できず、関係者だけで進められているということです。そこで杉原さんたちは抗議行動をし、写真を撮り、ネットに拡散したということです。

講演は、どのようにして日本が、武器輸出に軸足を踏み出したかを詳しく話されました。武器輸出三原則により、武器輸出が制限されてきたのに、2011年の野田政権の時「武器の国際共同開発」により、武器の輸出が出来やすくなったこと。その後の安倍政権による武器輸出三原則撤廃と「防衛装備移転三原則」の閣議決定。軍需産業強化法が成立し、武器輸出や設備増強に税金が使われるようになったこと。岸田政権で、国会の論議無しに、敵基地攻撃能力保有と殺傷武器輸出解禁により武器生産の質が根本的に変質したこと、三菱や住友などの企業がこぞって、海外への武器輸出を狙っていることなど。

いま日本は各地に弾薬庫を作っています。そこに多くの武器が貯蔵されているということです。どんな武器が貯蔵されているかは秘密。住民が危険にさらされているということです。その一方で、地下に自衛隊の施設を建設するなどしているのです。

このままいくと日本は殺傷武器をどんどん輸出する国、アメリカの軍需工場になってしまいます。こんな動きを少しでも止めるために、敵基地攻撃能力配備に反対するとともに、多くの人と手をつないで、いろいろな形で、反対の声を大きくしていかなければと思った講演会でした。(板橋千代子 記)



東京大空襲と広島・長崎

前号で鈴木解子さんが、田中てるみさんのノーベル平和賞授賞式での講演に「心打たれた」と書きました。私もオスロからのテレビ中継を見、講演の全文を読み返し、心打たれたひとり。その講演の中で田中さんは13歳のときの体験を話しました

長崎の田中さんは被爆3日目に母親と爆心地に近い伯母を探しに行きます。「道筋の家はすべて焼け落ち、そのまわりに遺体が放置され、あ

るいは大けがや大やけどを負いながらもなお生きているのに、誰からの救援もなく放置されている沢山の人々。私はほとんど無感動になり、人間らしい心も閉ざし、ただ目的地に向かうだけでした」。伯母は焼け跡に「大学生の孫の遺体とともに黒焦げの姿で転がっていました」。田中さんはこの長崎での体験をオスロの授賞式の間から全世界に発信しました。

作家半藤一利さんは東京向島に住み、3月10日の夜の大空襲で火に追われ、川のなかで「しがみつく人を振り払い、蹴飛ばし顔を出す」「私を引き上げてくれて助かりました」。舟の上から「岸でたくさんの方が死ぬのを見ていました。小さな子供を抱いて、川に飛び込むのをためらっていた女の人たちが何人も、まるで炭俵が燃えるように燃えていく、そんな光景を15歳の私は、ぼーっと見ていました。何の感情もなしに見ていました」。

東京大空襲では一晩で10万人が焼き殺され、広島では一発の原爆でその日のうちに10万人が命を奪われたといえます。日本が始めた侵略戦争の結果です。いちばん多感な中学生から「人間の心」を奪います。「日本は絶対に勝つ」と教えられた中学生、私も。

「絶対に勝つ」は「ウソ」。二度と「絶対」は使わないと誓った半藤さんが言います。「いまあえて『絶対』をつかう。『戦争だけは 絶対にはじめてはいけない』」
(郡司俊雄 記)



くららフェスタにお出かけください！

日時: 3月9日(日)

◆ 10時30分から 戦争体験をきく

東京大空襲・戦争孤児たちの戦後

話し手 木村マスさん(足利市)

◆ 13時30分 歌で綴る平和の願い

演奏 大橋友子さん

場所: 栃木市交流センター内 音楽室2(4階)

スタンディング=3月9日(日) くららフェスタのため中止

3月19日(水)イオン・カワチ前 15時から

スタッフ会議=3月14日(金)・3月8日(金)・4月10日(木)

13時30分から

くらら